

(社)東設事協 「チーム・マイナス6%」に参加!!

当協会は、この度8月5日付で「チーム・マイナス6%」に参加・登録しました。まだ耳慣れない言葉ですが、皆さま「チーム・マイナス6%」をご存知でしょうか? 地球温暖化は深刻な課題を人類に突きつけています。環境設備とも呼ばれるほど関係の深い業務に携る建築設備技術者にとって、環境は避けて通れない問題です。本年2月16日、地球温暖化防止の施策として、「京都議定書」が発効し、日本は2008年から2012年の間に、CO₂などの温室効果ガス排出量を1990年に比べ6%削減することが義務づけられました。そこで政府では国民が一丸となって取り組む地球温暖化防止国民運動を推進することとし、これを実現するための国民的プロジェクトと位置付けているのが「チーム・マイナス6%」です。この夏、小泉首相はじめ国を挙げて「クールビズ」を提言し、空調設定温度を28度とし、ノー上着、ノーネクタイを励行するもこの活動の一環です。4月28日から、この運動はスタートしましたが、このところ毎日新たに100近い企業・団体が参加するなどして、大きなうねりになりつつあります。当協会は建築設備関連団体に先駆け参加を表明いたしました。「TEJ 2113213」が当協会の登録番号です。この運動の一員として参加することで、当協会是一般の人にも環境問題をよりわかりやすくPRすることが求められます。会員企業の皆さまには温室効果ガス削減にむけた活動に、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

委員会の報告

6月21日に発行しました「協会だより第2号」以降の各委員会では、次のような活動・審議・報告を行いました。

<業務環境改善委員会>

1. オープンデスク応募の確認と振り分けについて
2. ビジネス部会の活動目標について
3. 消防設備士、建築設備士第一次・試験準備講習会について
4. ビジネスマナー講習会等について
5. 賠償保険の全国地区協会への案内文およびHPに記載する保険案内の見直しについて
6. 千代田区と意見交換会

<環境・技術委員会>

1. 室外機配置調査・エネルギー管理支援計画について
2. 建築設備情報のデータベースの作成について
3. 実地学習視察会について

<公益・事業委員会>

1. ONA委員会主催のイベント状況について
2. 今後の技術セミナー・展示会について
3. 新技術セミナー「地球温暖化防止に向けた法改正と新技術」について

<広報・情報委員会>

1. 協会だより第3号の掲載内容について
2. 個人情報保護法、HP情報収集方法について
3. マーカーサイト調査等について
4. 会誌創刊号について

<賛助会>

1. 賛助会の位置づけと協会組織について
2. 賛助会規程(案)、賛助会運営委員会の在り方について

●尾島理事 (社)日設事協の副会長に●

(社)日設事協では、平成17年度の総会で、会長には福西輝夫氏が再選されましたが、副会長・専務理事は決定できませんでした。その後、東京ブロックの理事は6月の理事会で、現執行部の運営方法など考え方に相違点があることから組織の要職にはつかない形で協力する旨の申し出をしました。これに対するいろいろな意見が出て選挙で判断することになり、結果は副会長には尾島理事と尾島理事、専務理事には伴理事が推されました。尾島理事は「協会混乱の懸念」、「東京への反発増」、「現体制の改革への多数の意見」などを配慮し、協会運営への一石を投じた効果はあったとしてこれを受諾し、副会長に就任いたしました。

●2005蓄熱フェア開催

当協会は蓄熱フェア後援団体に●

「エネルギーソリューション&蓄熱フェア'05」が7月27日～29日 東京ビッグサイトで開幕しました。本フェアは同実行委員会、東京電力(株)、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター、電気事業連合会などが主催者となり開催される展示会です。本年は約200社の企業、団体が出展する過去最大規模の催しとなりました。オープニングセレモニーでは、関係省庁である国交省、環境省、資源エネルギー庁の各担当、東京電力副社長、東京電力の商業女優の鈴木京香さんによりテープカットが行われ、大変華やかで盛り上がりつつある開催となりました。(社)東設事協は本年より後援団体のひとつとして名を連ね、セレモニー、レセプションには明野会長、青木理事が出席しました。また、当協会の正会員である(株)蓄設備設計が設備設計事務所として唯一出展し、注目を浴びていました。

●「省エネ法」が改正されました●

「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」の改正法案が今国会に提出され、成立しました。法改正の主要な点は、運輸分野と住宅・建築物分野の省エネ対策の強化が最大のポイントです。これまで規制対象外だった運輸部門を対象に加え、旅客や貨物輸送などの輸送事業者到低燃費車の導入や

省エネ計画の策定とエネルギー使用量の報告が義務付けられました。また、住宅・建築分野では新築・増改築する2000平方メートル以上の建築物(非住宅)に限って義務付けていた省エネ措置の届出を、大規模修繕や住宅にも義務付けるというものです。省エネ適合率は新築住宅で2000年度の13%から03年度には23%に、新築建築物(非住宅)では同じ年度で34%から70%に向上していますが、法改正でさらに省エネ化の推進を図るものです。これは政府のヒートアイランド対策関係府省連絡会議による「ヒートアイランド対策大綱」で定める次の5つの柱に対応するものです。①人工排熱の削減、②地表面被覆の改善、③都市形態の改善、④ライフスタイルの改善、⑤観測・監視体制の強化と調査研究の推進

●2011年 UIA東京大会開催が決定●

2011年のUIA(世界建築家連合)大会が東京で開催されることが、本年、トルコで開催されたイスタンブール大会で決まりました。アジアでは1999年北京で開催されて以来の2回目の開催です。世界92カ国の建築職能団体が加盟し、建築家の役割、建築教育、サステナブル建築、自然災害など幅広い課題を議論する場です。日本建築協会の小倉善明会長は、世界から1万人規模の建築家が東京に集まり、「建築と都市について語り合う大会」、「国内にもインパクトがあると思う」、「東京を訪れる多くの建築家が我が国を旅行するので、日本をPRする絶好の機会になる」としています。また、「国家プロジェクトに相当するものになりたい」と語っています。われわれ建築設備技術者も知っていなければならない話題の一つです。

●2005 METオープンデスク スタート●

東設事協発足後初となる2005METオープンデスクがスタートしました。この夏休みを利用して、3大学から8名の学生の研修申し出があり、正会員事務所7社に振り分け、現在それぞれ奮闘中です。またオープンデスクの募集は年間を通して受け付けるように改正し、既に年末に応募する大学も予定されております。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

●ビジネスマナー研修会のご案内●

今年も若い社員を対象にしたビジネスマナー研修会を開催します。会社のイメージアップのため教育事業小委員会が開くものです。

日時:9月15日(木) 9:45~17:00

詳しくは <http://www.met.gr.jp> をご覧下さい。

●「日本の発電」100年を観る視察会のご案内●

技術委員会実地学習小委員会の企画による、日本最古の水力発電と世界最大級の揚水発電所の見学会を8月26日(木)開催します。竣工後100年の駒橋発電所、落差714mの葛野川揚水発電所を訪れます。行き帰りのバス車中では懇親会も予定されています。詳しくは <http://www.met.gr.jp> をご覧下さい。

●「建築物のライフサイクルコスト」講習会のご案内●

標記講習会は、(社)日本建築士会連合会ならびに(社)建築設備技術者協会の継続能力開発(CPD)制度の認定講習会(申請中)です。東京地区は次の予定です。

開催日:9月5日(月)、9月29日(月)(科学技術館)

主催:(財)建築保全センター

(財)経済調査会

詳しくは <http://www.met.gr.jp> をご覧下さい。

●平成17年度 国土交通大臣登録

「建築設備検査資格者講習」のご案内●

(財)日本建築設備・昇降機センター主催によるこの講習は、建築基準法第12条第3項に基づく建築設備(昇降機を除く)の定期検査を行う資格を有する者(建築設備検査資格者)になるための講習です。

開催地	開催日	会場	定員
東京	10月18日(火)~	砂防会館別館	460名
1次	10月21日(金)	1階シエーンパツハ・砂防	
東京	11月29日(火)~	自治労第一会館	210名
2次	12月2日(金)	6階ホール	

詳しくは(財)日本建築設備・昇降機センターホームページ <http://www.beec.or.jp> をご覧下さい。

●平成17年度「建築・設備総合管理技術者」

資格取得講習のご案内●

(社)建築・設備維持保全推進協会(BELCA)主催の標記講習会が東京地区は次の予定で開催されます。

11月30日(水)~12月2日(金) 定員80名

(飯田橋レイナービル(新宿区市谷船河原町11))

詳しくは同協会(TEL.03-5252-3873)まで、お問い合わせ下さい。

●新規加入会員のご紹介●

	社名	業種
協会会員	設備設計 YUHARA	空調・衛生
賛助会員	エースライオン(株)	配・分電盤の製造販売、雷保護設備の設計・施工等
賛助会員	(株)ノーリツ	温水機器の製造販売

「チーム・マイナス6%」に参加しよう

当協会は8月5日付で、「チーム・マイナス6%」運動に参加・登録しましたが、具体的に参加チーム員にはどのようなことが求められるのでしょうか?日本の目標である「温室効果ガス排出量を1990年に比べて6%削減すること」を実現するために次の6つの項目に重点をおいて実行し、見直し、改善することを目指すとしています。

①冷房を28℃に設定しよう(温度調節で減らそう)、②蛇口はこまめにしめよう(水道の使い方で減らそう)、③エコ製品を選んで買おう(商品の選び方で減らそう)、④アイドリングをなくそう(自動車の使い方減らそう)、⑤過剰包装を断ろう(買い物とごみを減らそう)、⑥コンセントをこまめに抜こう(電気の使い方減らそう)

「チーム・マイナス6%」は4月末のスタート以来、すでに官庁、地方自治体、NPO、NGO、企業、団体など約2700組織、個人約62000人(8月15日現在)が参加しています。環境に伴う仕事に携っている私達が、この運動に関心でいいのでしょうか?周りから言われる前に、是非あなたの会社も、勿論よろしければあなたご自身も参加・登録して下さい。